

第2回国語ワーキング

放送大学 中川 一史

放送大学の中川です。第2回WGにおいて欠席してしまい、申し訳ありませんでした。

議題1についてコメント申し上げます。

論点1のp5の領域を連携して進められるご提案は賛同します。その上で、石井委員も指摘されていたように、他に比べて「話しあう」がまだぼんやりとしてしまう印象を持ちました。「話しあう」の「考えの形成」とは何のか?「話す・聞く」との関係はどうなのか。また、庭井委員からご指摘のあった「情報収集」は、すべてに入っていて妥当だと考えています。これらは特に議論が必要に思いました。

そのようなことからも、情報の扱い方に関する事項の拡張の検討が重要になってくると思います。情報の活用、あるいはマルチモーダルテキストを視野に入れることが重要に思います。今後、議論いただけすると幸いです。

また、これは情報技術の活用に関する箇所かと思いますが、各領域において、生成AIとの関わり方をどのように落とし込んでいくのか、という議論はさらに必要に思いました。もちろん、各領域の学習過程を充実させていくことは重要ですが、生成AIを避けて通れる時代ではないと思います。だとすると、どのような場面で生成AIは学びを阻害することになるのか、どのような場面で生成AIは学びを側面支援することになるのか、具現化していくことが必要になるかと思います。